



日比谷総合設備グループ  
第7次中期経営計画 2020-2022年度

# INDEX



- 1 経営理念 (HIBIYA GROUP Vision)
- 2-3 前中期経営計画振り返り (2017~2019年度)
- 4 外部環境
- 5 第7次中期経営計画  
(2020~2022年度/基本方針・基本戦略)
- 6 営業戦略
- 7 技術戦略
- 8 人財戦略
- 9 グループ戦略
- 10 ESGへの対応
- 11 『HIBIYA未来創造』
- 12 財務戦略
- 13 数値目標

## 01 基本方針

## 02 基本戦略

人財とICTへの  
投資による  
働き方改革

LCトータル  
ソリューションの  
高度化

## 03 ガバナンス

長期的かつ安定的な事業の継続と発展を目指した“企業体質変革の定着と強化”

### 成 果

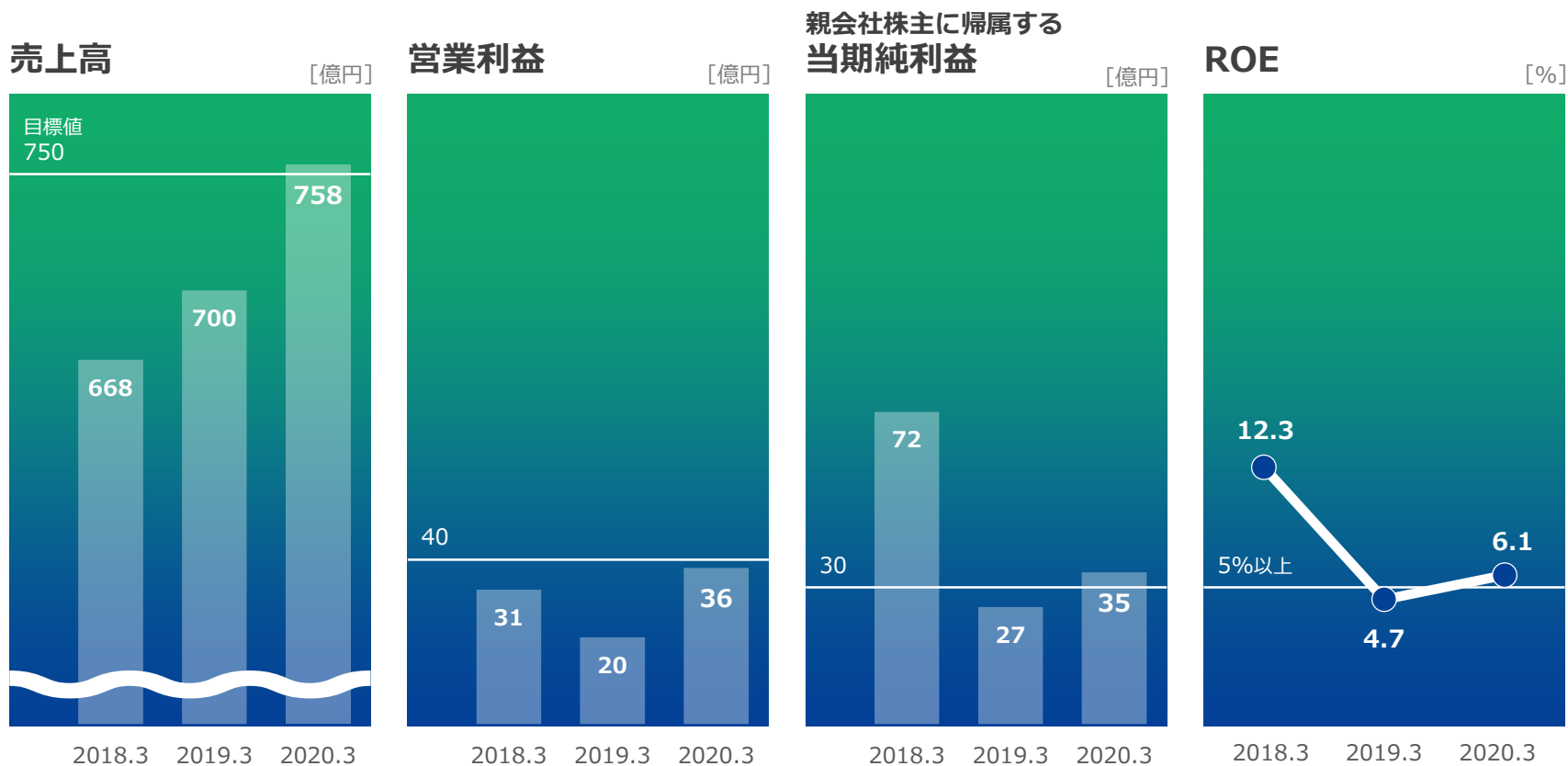
- ◆ 人財確保と育成、ダイバーシティへの取組み
- ◆ ワークライフバランスの実現
- ◆ ICT環境の整備とクラウド利用による業務効率化を実現
  
- ◆ ストック提案の深化によるリニューアル案件の拡大
- ◆ エネマネ事業、省CO2事業やスマートコミュニティ事業への参画
- ◆ 現場フォロー体制、竣工後アフターフォロー体制の充実と強化
  
- ◆ コーポレートガバナンス体制の強化
- ◆ 取締役および執行役員への新たなインセンティブプランを導入

# 前中期経営計画振り返り (2017~2019年度)



## 業績

- 第6次中期経営計画における財務目標は概ね達成



当面は「Withコロナ」での経済環境を想定する必要性があり、不透明な状況が継続  
ただし、現時点では建築・設備の一部分野における投資（動向）を除いて影響は限定的

- 一部業種（ホテル、商業施設等）での新規発注見合わせがみられるが、堅調な新築需要がある分野（データセンター、物流施設等）も多く、大規模再開発やリニューアルのための設備需要は引き続き堅調
- コロナ禍を契機に社会的課題が浮き彫りになり、変化が加速

## 01 マーケット（建築・設備需要）

|         |   |
|---------|---|
| オフィスビル  | 大都市圏においては大型再開発プロジェクトの着工が継続、リニューアル・リプレースなどが拡大すると予想 |
| データセンター | データセンターのスケールアウト（サーバー数増加）に伴う市場規模の拡大                |
| 物流倉庫    | EC（電子商取引）拡大により倉庫・物流施設への需要が拡大し、近年は大型化・マルチテナント化が増加  |
| 病院      | 厚生労働省が推進する公立病院等の再編統合による増床・設備投資が行われる可能性            |
| ホテル     | コロナの影響により開業の延期、開発計画凍結・見直しといった影響が出ており、今後の影響拡大が懸念   |

## 02 社会的ニーズ

|       |  |
|-------|--|
| デジタル化 | 働き方の変化に伴う、在宅勤務（テレワーク）の定着および多様化<br>「i-Construction」による省人化・省力化やDX技術活用<br>情報セキュリティリスクマネジメントへの対策強化 |
| 持続可能性 | 脱炭素・低炭素社会の推進<br>感染症対策が施された環境の整備  |

# 第7次中期経営計画 (2020~2022年度)



## 01 基本方針

コア事業の収益力強化と新たな事業機会の創出による成長と企業価値向上

「人財×技術」で持続可能な社会の実現に貢献

## 02 基本戦略

営業戦略

- ◆ 様々なステークホルダーとの共創によるLCトータルソリューションの進化

技術戦略

- ◆ 技術の高度化による生産性向上

人財戦略

- ◆ 働き方改革“Smart WORK”の推進と多様性（ダイバーシティ）

ガバナンス

- ◆ 会社経営の健全性を確保





## 様々なステークホルダーとの共創によるLCトータルソリューションの進化

01

### 新たな顧客 基盤の創出

- ◆ 新たな主要顧客（ゴールドカスタマー）の創出
- ◆ アライアンスパートナーとの協業による事業領域、顧客基盤の拡大
- ◆ 顧客・地域別戦略の立案・実施

02

### 高付加価値 ビジネスの拡大

- ◆ お客様が求めるソリューションメニュー（脱炭素事業等）およびファシリティサービスの展開でリニューアブル事業領域を拡大
- ◆ 街づくり、コミュニティに対し、IoT、AI等のスマート技術で新たな価値を提供
- ◆ グループ機能を連携させた営業の展開

# 技術戦略



## 技術の高度化による生産性向上

01

### 技術力・競争力

- ◆ LCサービスセンター活用によるリニューアル事業の拡充
- ◆ 多様な技術に対応するマルチ人材の育成
- ◆ 技術レベル到達目標を設定した教育プログラムの実施
- ◆ ICTツール活用による省人化、技術水平展開等による現場力向上
- ◆ 協力会社との共存共栄

02

### 安全・品質

- ◆ ICT技術を活用した事故・クレーム撲滅に向けた取り組み
- ◆ 現場とデスクが一体となった施工およびサービスの品質向上
- ◆ 建設キャリアアップシステム推進による技能者の確保・育成





## 働き方改革“Smart WORK”の推進と多様性(ダイバーシティ)

01

### 人財 ダイバーシティ

- ◆ 多種多様な採用方法での人財確保
- ◆ 専門教育・各種研修制度の充実
- ◆ 多様な人財が活躍できる環境づくり

02

### ワークスタイル 変革

- ◆ 適性、地域性を考慮した人員配置
- ◆ 時間や場所にとらわれない働き方の実現
- ◆ DX推進による業務改革、効率化  
(情報セキュリティ再構築と推進体制強化)

03

### 健康増進

- ◆ 心身のフォロー・マネジメントの実施
- ◆ 健康指標設定による社員の健康保持・増進

## グループのバリューチェーンを有機的に展開

01

日比谷通商  
商社  
(設備機器販売等)

02

ニッケイ  
メーカー  
(防災機器製造等)

### アライアンスパートナーとの協業

- ◆ 地球環境配慮商品の発掘、新たな商流の開発
- ◆ 設備機器保全サービスの強化

### グループ間連携の強化

- ◆ ユニット化・現場省力化に繋がる商品の提供

※ 当社完全子会社のHITエンジニアリング株式会社を2021年1月1日を効力発生日として吸収合併いたします。  
HITエンジニアリング株式会社は生産・環境・建築設備の企画・設計・施工・維持管理を行う設備工事を主な事業としており、当社グループでの当該事業における経営資源の集約、業務効率化と共に事業の発展を図るものです。

# ESGへの対応



持続可能な社会実現に貢献し、企業価値向上を目指す

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



01

Environment

02

Social

03

Governance

## 持続可能な社会環境への取り組み

- ◆ 省エネ・CO2削減に向けた積極的なお客様への提案
- ◆ アライアンスパートナーとの協業による脱炭素型社会への貢献
- ◆ 街づくり・スマートコミュニティ事業、ZEB事業等における価値提供

## Smart WORKへの積極的な取り組み

- ◆ 多種多様な人財がやりがいを持ち活躍できる環境づくり
- ◆ 社会貢献活動推進・地域社会への参画
- ◆ ワークライフバランス実現の継続・健康増進に向けたマネジメント
- ◆ 技術者育成と担い手確保

## 経営の健全性を確保

- ◆ 内部統制システムの整備
- ◆ コンプライアンス体制の充実
- ◆ 経営の透明性確保 (IRの充実、コーポレートガバナンスコード改訂への対応等)

# 『HIBIYA未来創造』



「未来の街・建物の姿を想像、新たな付加価値を創造」をコンセプトに  
下記のテーマを掲げ、日比谷の未来に向け取り組んでいく

01

## 設備工事を 深める

- ◆ アライアンスやM&Aの可能性を視野に入れ、グループバリューチェーンの強化・拡張による、総合設備業の高次元化を追求
- ◆ DXを新たなコアバリューとして確立

02

## 事業領域を 広げる

- ◆ 技術開発を推進するイノベーションラボを開設し、街・建物の未来を創造
- ◆ 建物まるごとソリューション企業への進化
- ◆ 環境配慮型プロジェクトの推進

03

## 経営基盤を 高める

- ◆ 日比谷メソッドの体系化と長期人財課題への未来投資
- ◆ 『HIBIYA未来創造』を実現できる高度人財の組織的育成・活躍できる機動的組織の構築

## 第7次中期経営計画実現に向けた収益基盤の強化による持続的成長

01

### 『HIBIYA未来創造』 に向けた投資

- ◆ グループバリューチェーン強化・拡張のためのアライアンス・M&A等
  - ◆ DX基盤強化推進による業務改善・生産性向上
  - ◆ 技術開発力・提案力強化・人財開発
- 資本コストを上回る投資リターン

02

### 株主還元

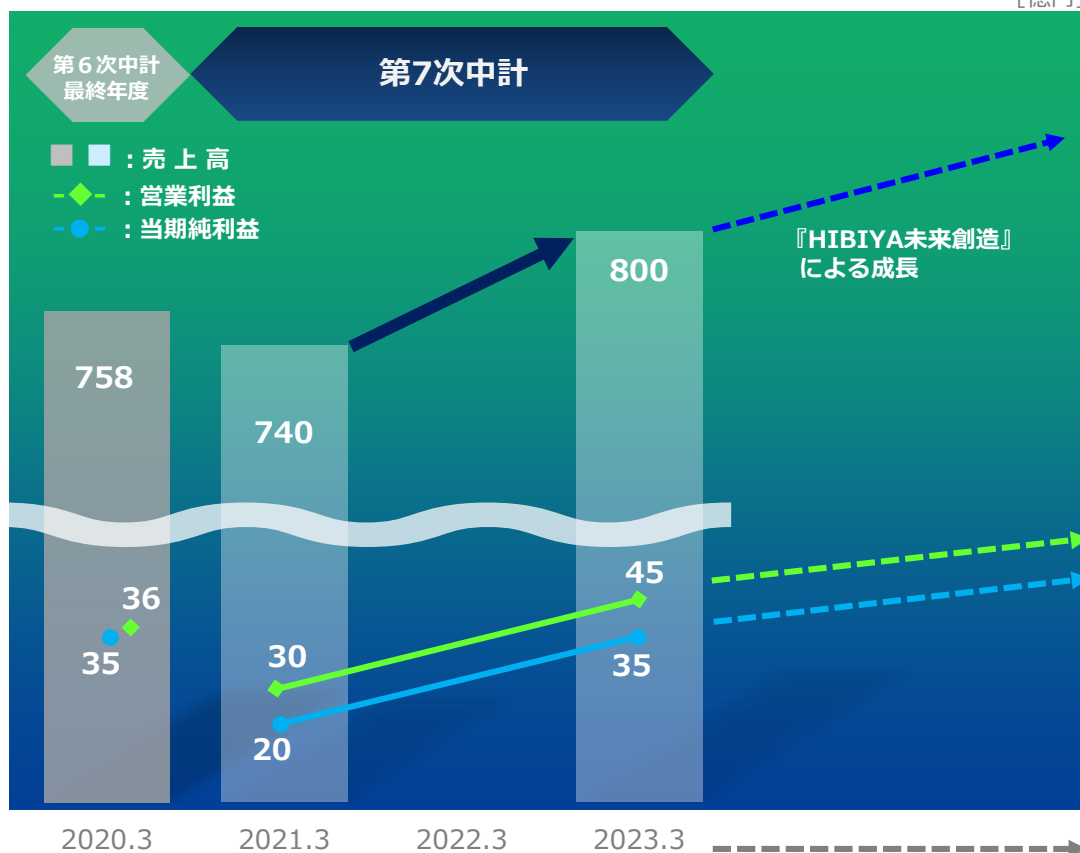
- ◆ 利益目標をベースとしつつ安定的な株主配当の維持・向上
- ◆ 自己株式取得は機動的に実施



# 数値目標

## 第7次中期経営計画

[億円]



2022年度(最終年度)

[億円]

受注高 800

売上高 800

営業利益 45

親会社株主に帰属する  
当期純利益 35

ROE 6.0%以上





## 日比谷総合設備株式会社

〒108-6312  
東京都港区三田三丁目5番27号  
住友不動産三田ツインビル西館  
[お問い合わせ先]  
管理本部 IR・広報室  
TEL :03-3454-2720  
FAX :03-3454-1450  
URL :<http://www.hibiya-eng.co.jp>

本資料には、日比谷グループの将来についての計画や戦略、業績に関する予想および見通しの記述が含まれております。これらの記述は、当社グループが現時点で把握可能な情報から判断した仮定および所信に基づく見込みです。また経済動向、市場需要、為替レートおよび税制や諸制度などに関するリスクや不確実性を含んでいます。このため将来の業績は当社グループの見込みとは異なる可能性があります。